

プレングレス3

乳腺炎—日本助産師会母乳育児支援業務基準「乳腺炎」2015を  
基本に—

武市 洋美 (桶谷式乳乳房管理法研修センター 前教務部長)

近年長く母乳育児をすることの母子へのメリットが明らかになり、授乳期間も延びています。その期間中に様々なトラブルを経験し、支援を必要とする母親がいます。中でも乳腺炎は、授乳中いつでも起こる可能性があるために、開業助産所や施設の母乳外来で働く助産師の重要な業務になっています。

日本助産師会は、助産師が乳腺炎に罹患した母親の状態を適切に判断し、医療に繋ぐ必要の有無を判断できることを目標に、2011年に乳腺炎の業務指針を作成しました。(その後2015年改訂)(公益社団法人日本助産師会(2015). 母乳育児支援業務基準「乳腺炎」2015. (株)日本助産師会出版)

今回は、事例をもとにこの業務基準の活用のしかたを学びましょう。

参加申込：第31回学術集会ホームページで受付中です。

参加費：2000円。当日、会場でお支払いください。

定員：80名程度。定員になり次第受付を締め切らせていただきます。

※ ラクテーション・コンサルタント資格試験国際評議会 (IBLCE) の継続教育単位 (1.5L-CERPs) 発行。受講票をお渡しします。